

はい！大阪大学渉外本部でございます！

～未来基金でできる39のこと～



渉外本部のメンバー

大阪大学未来基金を通じて行える各種支援事業が39あることをご存知でしょうか？

未来基金は、若手研究者や学生の海外留学等の支援を行っていますが、『大阪大学中之島キャンパス再開発事業』や、『〇〇学部教育研究』、『〇〇クラブの活動』といった特定の事業の支援もしており、まさに大阪大学の未来を創るために欠かせない大切な資金です。この『大阪大学の力になりたい』という熱い思いがいっぱい詰まった未来基金を管理し、それらで行われる事業を実りあるものにするべく日々奔走しているのが「大阪大学渉外本部」。

平成27年5月から寄付募集の渉外担当として働く吉田富士江さんと中村麻貴さんに、活動をお聞きました。

プロジェクト一覧

- | | | | | |
|--|--|---|--|---|
| <p>〈大学のプロジェクト〉
大阪大学中之島キャンパス再開発事業</p> <p>〈学部・研究科等のプロジェクト〉
① 文学研究科・文学部「教育ゆめ基金」
② 人間科学部・人間科学研究科教育研究推進事業
③ 法医学部・法医学研究科教育研究事業
④ 法学部・法学研究科・高等司法研究科教育研究事業
⑤ 経済学部・経済学研究科教育研究事業</p> | <p>⑥ 理学部・理学研究科教育研究事業
⑦ 医学系研究科・医学部教育研究事業
⑧ 健康長寿イノベーション・医学研究事業（医学部保健学科・保健学専攻教育研究事業）
⑨ 歯学部・歯学研究科教育研究事業
⑩ 薬学部・薬学研究科教育研究事業
⑪ 工学部・工学研究科教育研究事業（法学部・法学研究科・高等司法研究科教育研究事業）
⑫ 基礎工学部・基礎工学研究科教育研究事業</p> | <p>⑬ ツインリサーチセンター研究事業（ふたと創る健やかな日本の未来）
⑭ バイオテクノロジー教育促進事業（生物工学国際交流教育研究事業）
⑮ マラリア予防研究支援基金
⑯ 感染症研究・対策・人材育成支援事業（微生物病研究所教育研究事業）
⑰ 社会ロボット研究基金
⑱ 行動経済学研究支援事業（社会経済研究所教育研究事業）
⑲ レーザーエネルギー学教育支援事業
⑳ 蛋白質研究教育支援事業</p> | <p>〈課外活動等のプロジェクト〉
① 体育会硬式庭球部支援事業
② 体育会アメリカンフットボール部支援事業
③ 体育会硬式野球部支援事業
④ 体育会卓球部支援事業
⑤ 体育会ヨット部支援事業
⑥ 体育会サッカー部支援事業
⑦ 体育会ラグビー部支援事業
⑧ 体育会漕艇部支援事業
⑨ 体育会アイスホッケー部支援事業
⑩ 体育会バドミントン部支援事業
⑪ 医学部ボート部支援事業
⑫ 未来へ繋がるエコ活動支援事業（環境サークルGECS支援事業）</p> | <p>⑬ 課外活動等支援事業</p> <p>〈その他のプロジェクト〉
① 適塾記念事業
② 総合学術博物館運営助成事業
③ キャリア支援事業
④ 女性活躍支援事業</p> <p>〈目的指定なし〉
創立100周年ゆめ募金</p> |
|--|--|---|--|---|

（平成27年12月末時点）



未来基金は 応援してくださる方あってこそ

「電話をかけても『渉外本部』という部署はどこにあるのか、実際に大学内に存在する部署なのか信じてもらえず、アポイントを取ることが難しいこともあります」と中村さん。

吉田さんも「未来基金は応援してくださる方があってこそ事業なので、時間がかかったとしても、お一人お一人丁寧にじっくりとお話を伺うことに重点を置いています」と話す。

2人は、主に個人を対象として卒業生や名誉教授などを訪ね、未来基金を紹介する活動を行っています。大阪大学の職員が外に出て寄付募集の渉外活動をするのは、これまでに周年募金といった場合を除いてほとんどなかったとのこと。そのため、「新手の詐欺かと疑われたこともありましたが」と吉田さん。

阪大愛を聞き 阪大愛に目覚める

「名誉教授の先生にお話を伺うと、皆さん声をそろえて『今の自分があるのは大阪大学のおかげ』と阪大への感謝を話されます。また、例えば工学部出身の先生からは『ノーベル賞なんか獲らなくても、うちは社会に役立つ技術や成果がたくさん出てるやろ。そっちの方が凄いことや』とおっしゃったり、皆さん大阪大学を誇りに思っているのがヒシヒシと伝わってきて、大阪大学のために一層頑張ろうという気持ちになります」（吉田さん）



▲大阪大学研究情報ポータルサイト「ResOU」に設けられている「研究を支援する」専用ページ

寄付の文化を育みたい

昨年度で全11学部の教育研究を支援するためのプロジェクト事業がそろい、この他にも研究所・センターや学生の課外活動を支援するプロジェクト事業も増えつつあります。

吉田さんは「基金を増やすことは大切ですが、私たち2人の仕事が『寄付の取り立て』になってはいけなとと考えています。未来基金の設立趣旨や事業内容に賛同いただくのがまず第一で、その延長線上にあるのが寄付だと思っています。少し大層な言い方をすれば寄付の文化を育みたいですね。この仕事は、そのための土壌作りだと思います」と語っています。

阪大にどんな支援があればいいか、
良いアイデアが閃いた方は渉外本部へ
問い合わせみては。きっと爽やかな
声が出迎えてくれます。

大阪大学未来基金：

平成21年5月に設置。これまでの受入実績は約40億円となっている。国際交流、学生支援、研究者支援、社会貢献の4本柱で数多くの支援事業を行う。今年度の学部生への自主研究奨励事業もその一つ。

Re:本（リポーン）プロジェクト：

不要になった本やCD、DVDの査定額を手軽に寄付できる取組。「本のやり場に困る大学の先生は多いと聞きます。無料で引取りに来てくれますし、掃除の成果が寄付になるので、楽しんで取り組んでもらえれば」と中村さん。（※詳しくはWebへ。大学の図書資産（資産番号の押印、ラベル貼付してあるもの）は扱えないのでご注意ください。）

《大阪大学 未来基金 ホームページ》
<https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp>

意識を高く 自分たちは阪大の「顔」

渉外本部は小川理事のもと2人のほかに、未来基金の企画・運営・立案を担当する教員2名、寄付金などの管理を行う未来基金事務局の職員5名の10名体制。一定額以上の寄付者を招いての総長主催『感謝の集い』といったイベントも開催するなど、幅広く活動しています。

一般からの問い合わせが多いのも特徴で、その対応いかんで、大阪大学への不信感につながってしまいかねないため、電話一本の受け答えを特に大事にしているそう。誠実な印象を持ってもらえるように、声の大きさやトーン、受け答えの適切さに気を付ける等、全員が当たり前のことをきちんとできるように心がけているとのことでした。



今年度、学部生のための
自主研究奨励事業も
行いました。



▲Re:本プロジェクトの啓発漫画